

☆ きんひが通信

令和元年9月10日

〈第21号〉

校長 平塚智康

能楽体験学習 ～大聖寺は能楽を大切にしてきた町～

9月4日（木）、3年生を対象に能楽ワークショップ（能楽体験学習）が行われました。

錦城能楽会の7名のみなさんから指導を受け、「高砂」（結婚式でよく披露される謡くうたい）の一節を、先生の後について歌ったり、舞や笛・小鼓・大鼓などの楽器の演奏を体験したりしました。そして最後に、舞囃子「羽衣」を鑑賞しました。子どもたちは、江戸時代に大聖寺藩が大切にし、その後今日まで、大聖寺で長く受け継がれてきた伝統文化である能楽の世界を、体験を通して学びました。

（錦城東小では、毎年、3年生の総合的な学習の時間に「能楽体験学習」に取り組んでいます。）



〈先生の後について「高砂」を謡う〉



〈大鼓（おおつづみ）の打ち方を習う〉

【児童のお礼の手紙より】

今日はおいそがしい中、能楽のことを教えてくれてありがとうございました。能楽とはどんなものか、一の松・二の松・三の松の三つの松があること、大聖寺はん主の前田としかさんが能楽好きだったことなどが分かりました。

たいけんしてみてものかんそうですが、つづみは、おもくて音を出すのがむずかしかったです。太こは、音の大きさをちょうせいするのがむずかしかったけど、おもしろかったです。ふえは、とくにむずかしくて、あまり音を出せませんでした。能楽のげきも見せてくださってありがとうございました。

今日は、おいそがしい中、能楽のことを教えて下さりありがとうございました。

げきの時のお面の目のところのあながすごく小さいので、柱を目じるしにして歩いているということが分かりました。ふえをふく時は、なかなか音が出なかったけど、先生のおかげで、だんだん音が出るようになりました。まいの時のシテで、けんのようにしたり、酒をくんだりするのが、楽しかったです。また、能楽の話を聞きたいです。

今日は、あつい中錦城東小学校に来て、ぼくたちに能楽のことを教えていただきありがとうございました。ぼくは、はじめ能楽という言葉も知らなかったのに、終わった時は、たくさん能楽のことが頭に入っていました。

ぼくが、ふえをたいけんした時は、ぜんぜん音が出なかったのに、げきをしている時は、とてもきれいな音がしていたので、びっくりしました。また、見るきかいがあれば見たいです。

⑨ 錦城能楽会の先生方の話を一生懸命に聞き、いろいろな体験をさせてもらって、能楽についてたくさんのことを学んでいました。中には、昼休みに図書室に行って、さっそく能楽の本をさがしたり、読んだり、借りたりする人がいたそうです。いい勉強してるね。

今年、交流プラザさくら（前の医療センター）の近くに、「大聖寺能楽堂」（塚本歯科医院の前）ができました。機会があったら、見学に行ってみて下さい。本物の「能」は、劇の内容が難しいですが、能の合間に上演されてきた「狂言（きょうげん）」は内容がおもしろくて（笑える！）、わかりやすいので、小学生にもおすすめです。（NHKでもよくやっています。狂言をネタにしているお笑い芸人もいますね。）6年生の国語でも勉強します。

【9月5日 北陸中日新聞朝刊より】


地元の能楽体験
児童ら魅力知る
錦城東小

能楽のワークショップが
四日、加賀市錦城東小学校
であり、三年生二十五人が
体験を通じて能楽の魅力に
触れた。

地元の錦城能楽会から七
人が訪れた。児童たちは藩
政期から地域で受け継がれ
る能楽の歴史を学び、「高
砂」の謡を習った。舞の体
験では、扇一つで喜びや悲
しみ、酒をくんだり、刀で
切ったりというんな表現を
することを学んだ。

太鼓を体験した飯田剛仁
君（ふんじん）は「ばちを真ん中に
当てるところが難しかった」と話した。ワークシ
ョップは市教委が主催し、市
内の各小学校を三年に一回
巡回する。（小室亜希子）

能楽の舞を体験する児童
たち―加賀市錦城東小で



奉仕作業ありがとうございました

9月7日（土）、運動会へ向けて、運動場の除草奉仕作業が行われました。

親子で、たくさんのご家庭に参加していただき、おかげ様で、運動場がとてもきれいになりました。暑い中、汗だくになっての作業、本当にありがとうございました。（放課後にグラウンドを使用している、大聖寺高校ソフトボール部の部員も奉仕作業に協力してくれました。）

今週から、本格的に運動会の練習が始まります。まだまだ暑い日が続いておりますので、ご家庭の方でも、熱中症対策について、ご協力をよろしくお願いいたします。

